

報道関係者各位

令和4年5月13日

舞鶴工業高等専門学校生が制作した引揚船等の模型

視覚障害者による初めての利用について

令和4年3月9日に舞鶴引揚記念館へ贈呈された舞鶴高等工業専門学校の学生が3Dプリンターで制作した、引揚船や引揚栈橋の模型が視覚障がい者の方に触れていただくハンズオン資料として利用されることとなりました。その初めての利用者が下記の日程で舞鶴引揚記念館を来館されますので、お知らせいたします。なお、当日は制作指導にあたった担当教員も立ち会われる予定です。

1. 来館者

岡崎 学（視覚障がい者）、他7名（神奈川県在住）

※報道で模型の記念館への贈呈を知り、京都府北部方面への旅行にあわせて、ぜひ触れさせてほしいとお申し出があったものです。

2. 来館日時

令和4年5月15日（日）14：30ごろ到着予定

3. 舞鶴工業高等専門学校からの参加者

指導教員：船木 英岳（ふなき ひでたか）

※制作にあたった学生は3月に卒業し市外に転出しています

4. 参考画像



SDGs 未来都市

舞鶴引揚記念館（担当：長嶺）
〒625-0133 舞鶴市字平 1584
TEL:0773-68-0836、FAX:0773-68-0370
E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp